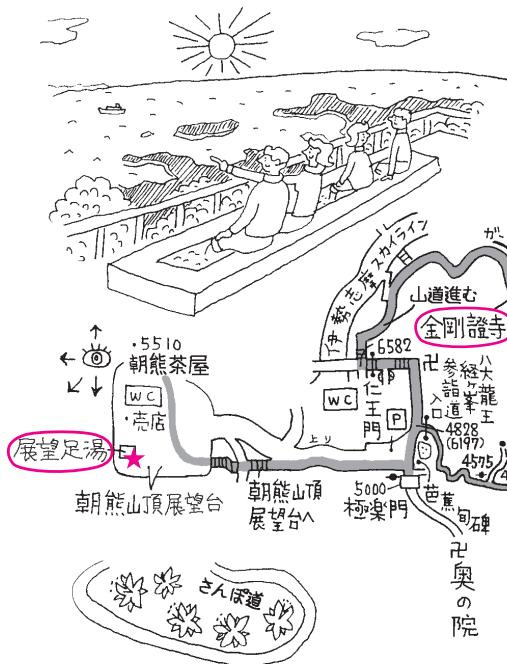


てくてく 三重-8まつぶ

●てくてくまつぶはイラストマップ
ですので、お出掛けの際は詳しい
地図を各自でご用意ください。

近鉄あみま俱楽部の
情報は
コチラ!→



コースのあらまし 朝熊駅から集落を通り抜け「あいの広場」から急坂を登るのが朝熊岳道。拳大のゴロタ石もあり、所々に岩盤も露出して少し歩き難い。

1町約109mごとの町石と、ケーブルカー跡などからの伊勢湾の眺めを楽しみに22町まで登り、宇治岳道と合流して左へ。朝熊ヶ岳山頂は八大龍王社の境内。金剛證寺と奥の院を結ぶ参道に降り、極楽門前を右折して朝熊山頂へ。参道に戻り境内を抜け宇治岳道へ。なだらかな下り坂を6キロ余で、おかげ横丁。おはらい町通りを経て約1キロで五十鈴川駅だ。急な登り、なだらかな山頂付近の舗装路、ゴロタ石の多い緩やかな下り、街路と変化に富んだコース。

金剛證寺 開基は欽明天皇の時代と伝え、平安時代、弘法大師により密教修業の道場として整備されたという。古来、伊勢神宮の鬼門を守る寺とされ、伊勢音頭に「お伊勢参らば朝熊を駆けよ」と唄われた。秘仏の御本尊も神宮の式年遷宮の翌年に合わせて開帳される。奥の院への参道に並ぶ、最高8m近い巨大な塔婆の列は必見。

ハイキングのエチケット

- *ゴミはまとめて持ち帰りましょう。
- *山火事防止のためタバコに注意しましょう。
- *大切な自然です。植物の採集はつづみましょう。

きれいな思い出 きれいな自然
ゴミやアキ缶は、持ちかえりましょう



●約16キロ〔朝熊駅～朝熊山頂～宇治岳道～おかげ横丁～五十鈴川駅〕

あさまたけみち うじたけみち

朝熊岳道・宇治岳道コース

朝熊山頂 コースには伊勢湾の絶景を楽しめる場所が数カ所あるが、この山頂が最高。伊勢湾側では鳥羽市街や答志島の向こう、伊勢湾越しに知多半島や渥美半島、左手には宮川河口から津、四日市の街、右手には遠州灘の海岸線から遠く伊豆半島、天気さえ良ければ富士山まで望める。そんな景色と同時に足湯まで楽しめる(有料)休憩施所。

宇治岳道 金剛證寺から内宮に至る緩やかな道で、昭和39年まではバスが走っていたという古道。沿道に残る立派な石垣が、往時の茶屋などの繁栄を偲ばせる。尾根筋を行くので、いつになると下山できるのかと思うほど緩やかだが、小さな堰堤状の構造物を過ぎるとすぐに神宮の建物が見えてくる。

●地図内の数字は、起点からの実測距離
(メートル)を表わしています。



おかげ横丁 伊勢神宮内宮の門前町「おはらい町」の中ほど、五十鈴川に架かる新橋の西詰め。江戸から明治にかけての伊勢の代表的建築物が移築・再現され、三重伝統の味や名産品などを商う老舗・名店が営業する。そぞろ歩くだけでも十分に楽しい。

●コース内の神社仏閣、施設等によっては、
有料の個所があります。

このコース地図は2022年1月調査に基づいて作成しています。
風水害、天災地異等によりコース変更が生じることがあります
ので、事前にお問い合わせください。
当コースのお問い合わせ=近鉄名古屋イベント係
☎ (059) 354-7007

- 大阪上本町駅から朝熊駅まで約2時間15分(五十鈴川駅まで特急利用)
- 京都駅から朝熊駅まで約2時間40分
(五十鈴川駅まで特急利用、大和八木駅・五十鈴川駅のりかえ)
- 近鉄名古屋駅から朝熊駅まで約1時間40分
(五十鈴川駅まで特急利用、五十鈴川駅のりかえ)

★は近鉄あみま俱楽部アプリの
チェックポイントです。

企画・発行=近畿日本鉄道(株)
制作・印刷ニ(株)アド近鉄
イラストマップ=宮野耕治
※無断転写禁ず。

近鉄